

原朋直 trumpet
朝田拓馬 guitar
宮川純 piano

2020 01月12日(日)

開場 14:30
開演 15:00~

(2ステージ 入替なし 途中入場可) (1drink=600円~)

一般: MC 3700円+2drinks order

CAFE BEULMANS

03-3484-0047

info.cafebeulmans@gmail.com

東京都世田谷区成城6-16-5-2F

メールでのご予約の場合、
必ず当日ご連絡がとれる電話番号を
ご記載ください。



朝田拓馬

父親の影響で12歳からギターを弾き始める。高校生の時にジャズに興味を持ち2005年洗足学園音楽大学ジャズコースに入学。インプロビゼーション、作曲、音楽理論を学び、卒業時には同校の音楽レーベルSGworksより、自作曲を含むアルバムが全国リリースされた。現在はギタリスト/ボイスパーカッショニストとして、Jazz,gospel,popsを中心に様々な現場でライブサポート、レコーディングを行っており、原朋直(tp)グループのギタリストとしてこれまで2枚のアルバムに参加し自作曲も収録される。またビートメイカー、プロデューサーとしてアーティストへの楽曲提供も行なうなどジャズギタリストの枠にとられないマルチな活動を行っている。2018には石原さとみ出演のTVCM、明治the chocolateのバックミュージックをギター1本で演奏し好評を博す。



原朋直

1966年生まれ。大学在学中よりジャズの演奏活動を開始、卒業後、本格的に音楽の道へ進む。1990年代、日本ジャズ界に巻き起こった若手ミュージシャンによる一大ムーブメントの先頭に立ち活躍。1996年の初リーダー作『Evidence for My Music』以来、多数のリーダー・アルバムを発表。その他数多くの作品に参加する。また、テレビ番組『情熱大陸』で活躍が紹介され話題となった他、北野武監督の映画『ブラザー』やNHK-BS『ワールドニュース』のオープニング・テーマの演奏、ヤマハのCMへの出演及び楽曲の提供、『題名のない音楽会』への出演など、活動の場は広い。海外のトップ・アーティストとの共演も多く、アメリカ、ヨーロッパ、アジアのジャズ・イベントにも多数出演する。現在は自己のユニット"原朋直グループ"(Tomonao Hara Group)を中心に活動。近年の主な作品は、ユキアリマサとのデュオ・アルバム『Vol.One』、『The Days Of Wine And Roses』、原朋直カルテットによるアルバム『Color As It Is』、原朋直グループによるアルバム『Time In Delight』、池尻洋史とのデュオ・アルバム『Dear J.C. ~ Dedicate to John Coltrane ~』。洗足学園音楽大学教授



宮川純

1987年生まれ、愛知県出身。音楽好きな父の影響で5歳よりエレクトーンを始める。高校卒業後、甲陽音楽学院名古屋校に進学。在学中よりnobodyknows+のレコーディングに参加するなど名古屋のシーンで頭角を表す。21歳でVictorよりメジャーデビュー。その後上京し、これまでに3枚のオリジナルアルバムを発表。3rdアルバム「The Way」(2015/T5 Jazz)は「日本のジャズ新時代を告げる重要作」と各メディアで高く評価される。これまでに大野雄二 & Lupintic 6、綾戸知恵、Keiko Lee、TOKU、黒田卓也、市原ひかり、ものんくる、大和田慧、Hanah Spring、IO(Kandytown)、kiki vivi lilyなど、大御所ジャズミュージシャンから新鋭アーティストまで幅広いシーンでのライブやレコーディングに多数参加。ピアノ、 Hammondオルガン、シンセサイザーなど多種多様な鍵盤楽器を高いレベルで同等に弾きこなす確かなテクニックと柔軟なセンスを併せ持つ気鋭のマルチキーボーディストである。